

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	マルチ浸透シール ホワイト		
会社名	プレマテックス株式会社		
住所	東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー 9F		
担当部門	技術開発課		
電話番号	03-5728-9221	FAX 番号	03-5728-9223
製品の種類	水性1液浸透形カチオンシーラー		
用途	建築用、その他		
作成	2016年	6月	22日
改訂	2024年	8月	20日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

項目	分類区分	
引火性液体	分類できない	
急性毒性	経口	分類できない
	経皮	分類できない
	吸入 (気体)	分類できない
	吸入 (蒸気)	分類できない
	吸入 (粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない	
生殖細胞変異原性	区分1	
発がん性	分類できない	
生殖毒性	分類できない	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない	
誤えん有害性	分類できない	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分3	
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分3	
オゾン層への有害性	分類できない	

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合
医師の診察／手当てを受けること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学物質名	CAS No.	含有量 (%)	備考
酸化チタン	13463-67-7	1 ~ 10	
エタノール	64-17-5	0.1 ~ 1	

4. 応急措置

吸入した場合 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 付着物を布にて素早く拭き取ること。
大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診察を受けること。

眼に入った場合 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
できるだけ早く医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 全ての消火剤

特有の消火方法 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

使ってはならない消火剤 データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。
屋内では換気をしっかり行うこと。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行うこと。
 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。

環境に対する注意事項 河川の流出等により、環境への影響を起こさないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。
 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐこと。
 水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 換気の良い場所で取扱う。容器はその都度密栓すること。

保管 日光の直射を避ける。通風の良いところに保管すること。
 漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。
 盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

危険有害成分の暴露濃度：

化学物質名	管理濃度	ACGIH (TLV)
酸化チタン	—	10 mg/m ³
エタノール	—	1000 ppm

設備対策 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備とすること。

保護具

呼吸器の保護具 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

目の保護 取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
 また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他の保護具 静電塗装作業を行う場合は、帯電防止服、静電靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	白
臭い	僅かにアクリル臭あり
沸点又は初留点及び沸点範囲	100°C
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし

分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他	特になし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	常温で安定している。
危険有害反応可能性	常温で危険な反応はない。
避けるべき条件	高温を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	COなどの有害性ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	エタノール LD50 (経口) > 5000 mg/kg(4h) LC50 (蒸気) 20000 ppm(4h) LC50 (粉塵、ミスト) 63000 mg/L(4h)
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	酸化チタン (区分2B)、エタノール (区分2A)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	エタノール (区分1B)
発がん性	データなし
生殖毒性	エタノール (区分1A)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	酸化チタン (区分3)、エタノール (区分3)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	エタノール (区分1,2)

誤えん有害性	データなし
その他の有害性情報	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
水生環境有害性 短期（急性）	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	酸化チタン（区分4）

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規に並びに地方自治体の基準に従うこと。
 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 排水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
 空容器は内容物を完全に除去してから処分すること。
 空容器・包装等はリサイクルを推奨すること。
 ダイオキシンなどの有害ガスが発生するおそれがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名 (国連輸送名)	該当しない
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	3
容器等級	III
輸送又は輸送手段	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

に関する特別の安全対策	容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
国内規制がある場合の規制情報	<p>指針番号 該当しない</p> <p>陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。 荷送り人は運送業者に運搬注意書（イエローカード）を交付すること。</p> <p>海上輸送 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。</p> <p>航空輸送 航空法の定めるところに従うこと。</p>

15. 適用法令

労働安全衛生法	<p>通知物質 酸化チタン、エタノール</p> <p>表示物質 酸化チタン、エタノール</p>
化学物質管理促進法（P R T R法）	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
海洋汚染防止法	情報なし
悪臭防止法	情報なし
大気汚染防止法	情報なし

16. その他の情報

主な引用文献	<p>(社)日本塗料工業会編集「G H S 対応 S D S ラベル作成ガイドブック」</p> <p>(社)日本塗料工業会編集「S D S 用物質データベース」</p> <p>溶剤ポケットブック</p>
--------	---

記載内容は、作成時又は改訂時において最新の情報、データに基づき作成しておりますが、新たな情報を入力した場合には追加・修正を致します。

また、記載のデータはその製品を代表する値であり、保証する値ではありません。未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者の責任において、安全性の確認を行って下さい。